

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エンジョイ松阪単位③		
○保護者評価実施期間	2025 年 10 月 20 日 ～ 2025 年 11 月 20 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2025 年 10 月 20 日 ～ 2025 年 11 月 20 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年12月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	用途を分けて3つの部屋（学習室、活動室、PC室）を活用させていただいております。 その中で、どの部屋が何をして過ごす部屋なのかを明確に分けて行うことで子どもたちの気持ちの切り替えやすさや構造化を図っています。	部屋ごとでの約束事をより分かりやすくし、子どもたちが各部屋の用途に合わせながら過ごすことが出来る環境設定を行います。
2	子どもは安心感を持って通所している	子どもたちの受け入れ時などに、笑顔で「おかえり」など事業所に到着してからの声掛けを大事にさせて頂いております。 また、子どもたちの困ったこと等があった際には、話を聞きまずは子どもたちの気持ちを受け入れ、共感することを意識しながら日々関わらせていただいております。	子どもたちが笑顔で安心して、通所することが出来るように日々子どもたちとの関わりを大事にしています。 また、「出来た」など感じ取ることが出来る「活動」や「遊び」を提供していきます。
3	事業所の活動プログラムが固定化されないように工夫されている。	週ごとによって、活動内容を変更させて頂いております。 また、活動の週によっても毎日同じ活動ではなく、活動の目的は同じでも活動内容は変更させて頂きながら子どもたちが楽しく活動に参加することが出来るように工夫をしています。	子どもたちの成長段階を確認しつつ、より子どもたちに合った活動内容を検討することや、日々の振り返りの中で活動内容の振り返りも行い、次回に繋げるための話し合いを重ねていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会	現状、地域の放課後クラブや児童館との交流を行っていないのが現状です。	地域交流を図るため、地域の方と一緒に活動することが出来るように企画を検討いたします。
2	父母の会や活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	保護者様同士の交流会やきょうだいと一緒に参加できるイベントを開催出来ていないことが現状にあります。	長期休暇に季節行事イベントなど、きょうだいと一緒に参加できるイベントを企画し、ご家族の皆様と一緒に楽しめるイベントを検討いたします。
3	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか。	現在、電話や公式LINEなど活用し、保護者様からのご相談を承っています。 しかし、直接保護者様とお会いして面談機会を十分に設けることが出来ておりません。	対面面談を実施するための体制づくりやスケジュールの調整を行っています。